

延岡中学校 学校だより 11月号

学校だよりは、生徒・保護者・地域社会の皆様へ学校の様子をお届けするために作成しています。

ドクターヘリに夢を乗せて (for Miyazaki)

11月12日（木）の（1年生）総合的な学習の時間（キャリア教育）に、宮崎大学医学部附属病院救急救命センター副センター長の金丸勝弘先生に「ドクターヘリに夢を乗せて」と題して、講話をしていただきました。

金丸先生は、宮崎市出身で地元の高校から自治医大を経て、医師として椎葉村、旧東郷町、北浦町等で地域医療に携われました。その時「助かるはずの患者を助けられない」「市町村の境目が命の境目になっている」という厳しい本県医療の現状を目の当たりにされ、ヘリ救急・救急医療の道に進まれました。現在、宮崎大学救急センターでドクターヘリの運用・救急医療等に関わり、9年目を迎えられています。

講話では、県民の命を守るべく（for Miyazaki）、宮崎の空にドクターヘリを飛ばすという「夢」をかなえるため、様々な困難を乗り越えてきたことをドラマ「コードブルー」での医療監修の経験等のエピソードも交えてわかりやすく話をしてくださいました。

講演後の生徒の感想文の中には、夢を持ち、努力することの大切さや、医療関係者への感謝の気持ちを表す言葉などが多数ありました。本校では、今後も将来の生き方や働き方を考えることをねらいにキャリア教育を進めて参ります。次回は令和3年2月25日（木）に、2年生を対象に、金丸先生に講話をしていただくことになっています。

一人一人の人権を大切にしよう!!

昨年9月の延岡市議会において「延岡市すべての市民の人権が尊重されるまちづくり条例」が可決され、昨年10月1日から施行されています。この条例は、部落差別をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、性的少数者等へのあらゆる差別は決して許されるものではないという認識のもと、あらゆる差別の解消を図るために必要な取組を行い、すべての延岡市民の人権が尊重される社会を実現することをねらいとしています。

この事を受け本校においても、学校における身近な差別や偏見（特にいじめ）をなくし、お互いの人権を認め合う人間性を培うために、12月4日（金）～12月10日（木）の期間を人権週間とし様々な取組をすることにしています。特に12月4日（金）には、人権に関する講演会をとして「いじめ」をテーマに、池澤秀明氏に講演をお願いしています。

生徒会活動においても、昨年度に引き続き重点目標として「いじめのない学校」を掲げ、いじめ撲滅三ヶ条唱和等の取組をすすめていくことになりました。

生徒の皆さんには、12月の人権週間を契機に改めて人権について考え、身近ないじめや差別に気づき、そうした行為をなくす行動が起こせる人になること、そして、さらに人権感覚を高め心豊かな大人へと成長することを願っています。

2年生が修学旅行から無事に帰ってきました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、旅行先や内容を大幅に変更して実施した2年生の修学旅行が無事に終了しました。実施にあたっては、複数回にわたる説明会や同意書の提出・旅費納入等で、2年生の保護者の皆様には大変な御協力をいただきました。誠にありがとうございました。また、市教委を始め関係機関の皆様にも御支援をいただきました。御礼を申し上げます。2年生はこの修学旅行で、様々な経験をする事ができました。

特に被爆者体験講話や原爆資料館の訪問では、戦争について深く考えることができたと思います。また、長崎や佐賀の名所を巡る中で、クラスの仲間とたくさんの思い出を作ることもしました。3年生が、受検や卒業に向かう中、2年生には修学旅行の経験も生かしながら、学校のリーダーとしてさらに活躍して欲しいと願っています。